

令和5年度

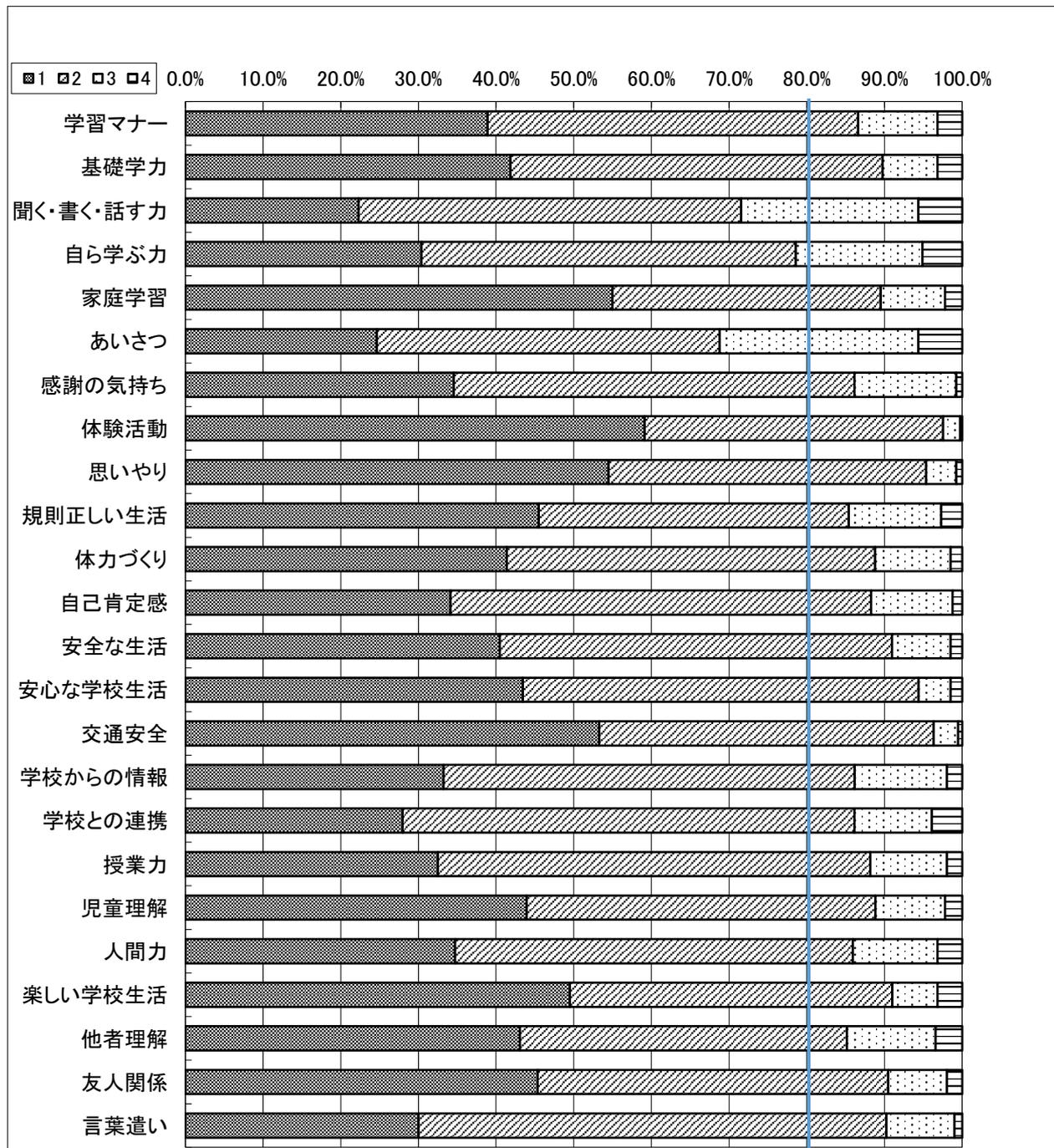
# 教育活動に関するアンケート

## まとめ (HP)



12月に「保護者・児童・教師アンケート」を実施しました。

## 1 保護者アンケートの結果（1～6年）



(1 満足 2 どちらかといえば満足 3 どちらかといえば不十分 4 不十分)

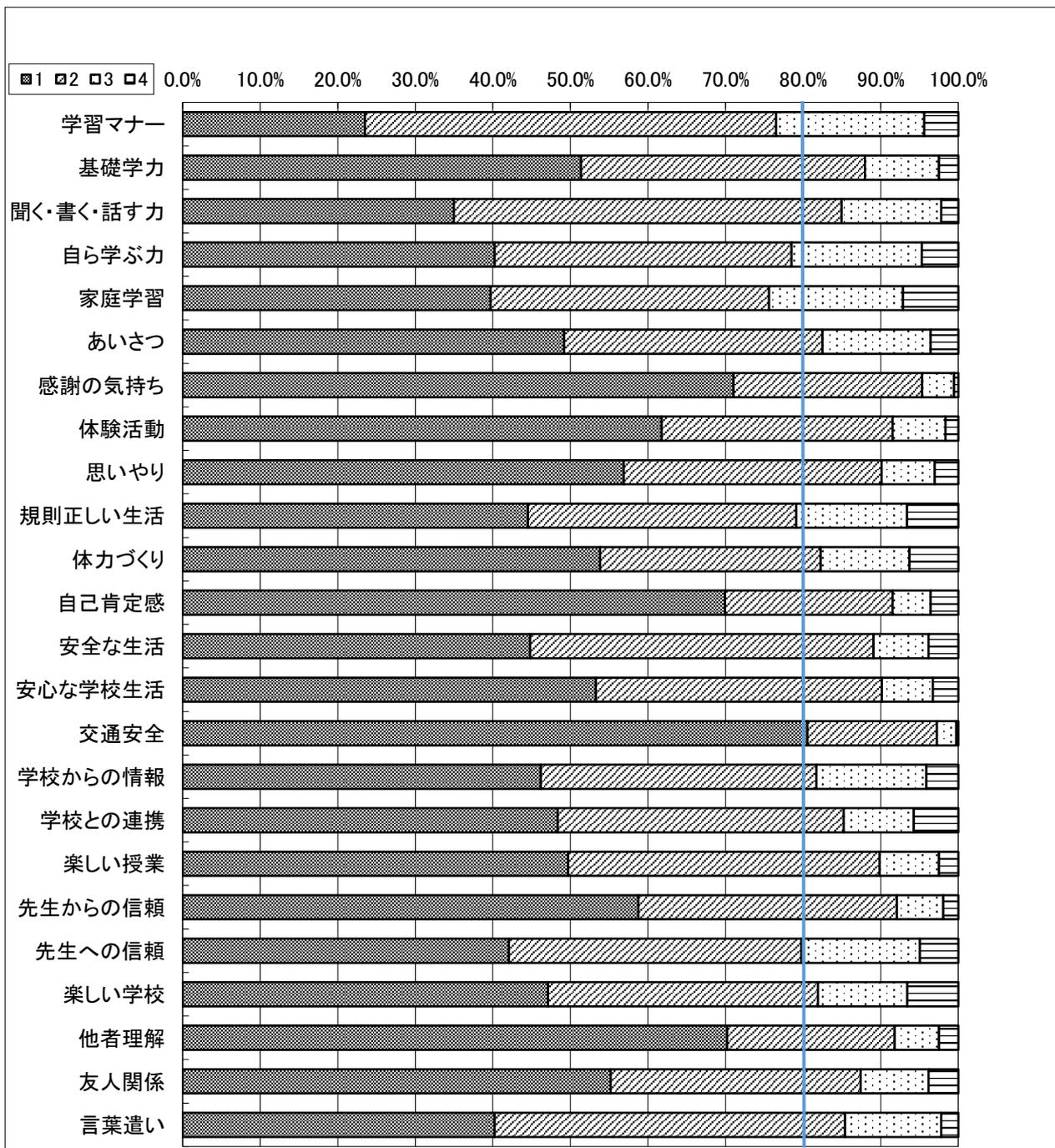
◇ 評価の高かった項目（1 満足，2 どちらかといえば満足を合わせて80%以上）は，24項目中21項目であった。**聞く・書く・話す力** **自ら学ぶ力** **あいさつ**の3項目については，昨年度同様に80%には達しなかった。

◇ **あいさつ**については，例年評価が低く，本校の課題であると考え。「あいさつ運動」などの取り組みもあるが，日常の生活の中で自然と気持ちのよいあいさつができるよう，日頃の姿勢を大切にしていきたい。

◇ どの項目も割合については，昨年度と大きな違いはなかった。



## 2 児童アンケートの結果（3～6年）



（1満足 2どちらかといえば満足 3どちらかといえば不十分 4不十分）

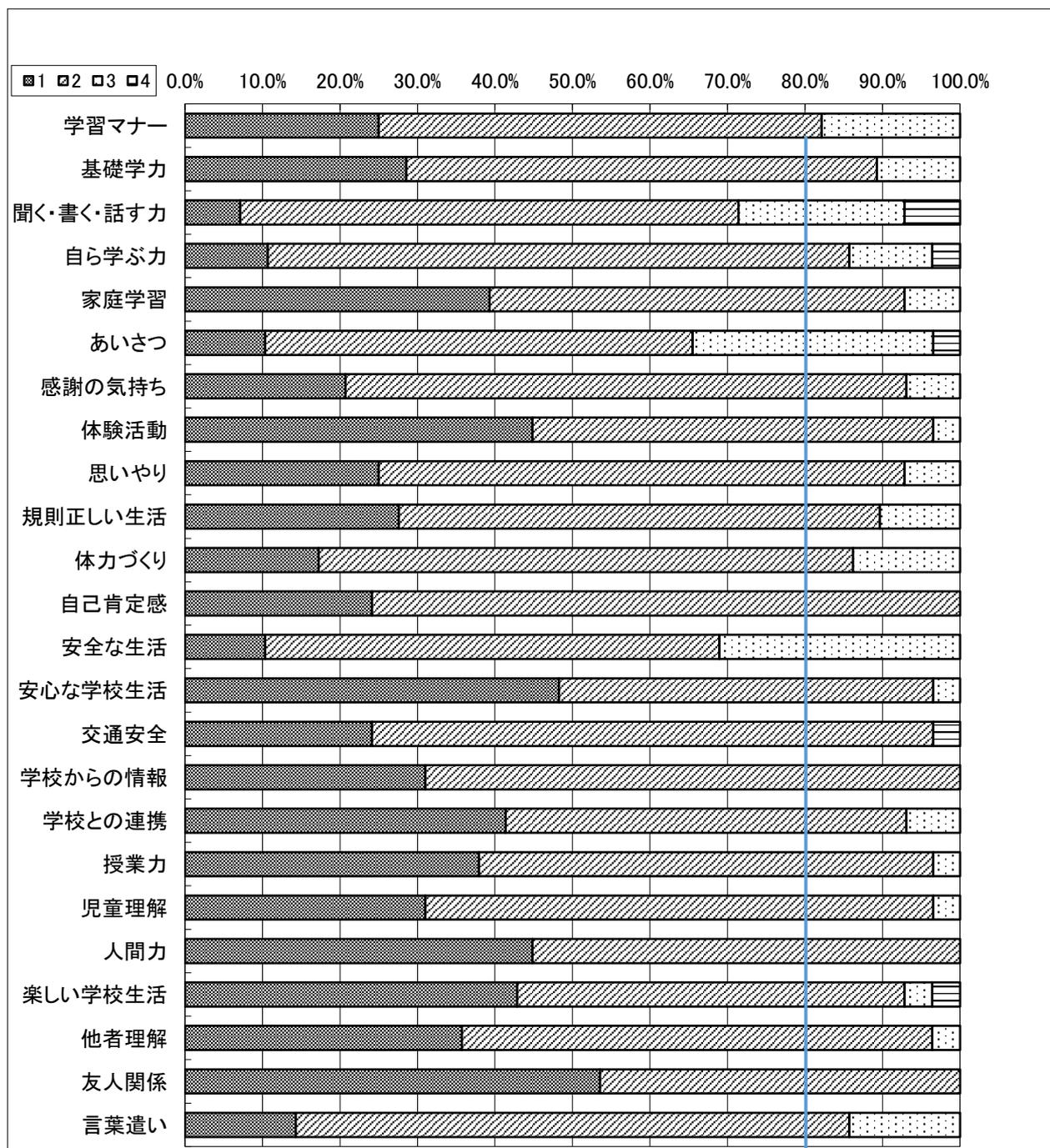
◇24項目中、評価の高かった項目（1，2を合わせて80%以上の項目）は19項目あり，昨年度より2項目増えた。中でも「感謝の気持ち」「体験活動」「思いやり」「自己肯定感」「安心な学校生活」「交通安全」「先生からの信頼」「他者理解」は，90%を超える。これも昨年度より2項目増える大変よい評価となった。

◇「先生からの信頼」や、「先生への信頼」の評価が上がり，うれしい結果となった。学校が子どもたちにとって安心できる場となるよう，引き続き関係づくりに心がけたい。

◇「自ら学ぶ力」「家庭学習」といった項目の評価が低い。児童の追究意欲が高まり，主体的な学習につながるような授業づくりを工夫したい。



### 3 教職員アンケートの結果



(1 満足 2 どちらかといえば満足 3 どちらかといえば不十分 4 不十分)

◇ 24項目中、評価の高かった項目（1, 2を合わせて80%以上の項目）は21項目あり、昨年度と同様であった。中でも「自己肯定感」「人間力」については、大変よい評価となった。

◇ 「安全な生活」「交通安全」は昨年度より評価が上がった。昨年度、学校でのけがが多かったことへの反省から、安全管理や事故防止の意識の高まったことの表れと考える。

◇ 昨年度と比べ、特に評価が上がったのは、「あいさつ」「思いやり」「楽しい学校生活」である。日頃の学級経営ももちろんであるが道徳の授業に積極的に取り組んだこともよい結果につながっていると思われる。



## ※3者（保護者・児童・教員）評価のまとめ

本年度はコロナ禍による制限もなく、子どもたちが、自分の力を存分に発揮して、活躍する場面がたくさんありました。学校行事や授業を中心とした教育活動はもちろんのこと、委員会活動をはじめとする、児童が自ら考え、児童主体となって活動する場面が光りました。それが、子どもたちの満足感や成就感につながり、「自己肯定感」や「楽しい学校」の高評価につながったと考えます。

「体験活動」では、3者とも高評価になりました。今年度は、昨年度以上にさまざまな活動や学校行事を工夫して行うことができました。のんほいパークの見学や荒田池プロジェクト、二川宿本陣祭りの参加などでは、地域の歴史を学び、地域の方々の願いや想いに触れました。PTAや地域のボランティアの皆様の支援で、「野菜づくり」をはじめとするいろいろな体験活動にも取り組むことができました。

毎年課題となっている「あいさつ」については、保護者・教員ともに評価はまだ80%にとどかないものの、児童は80%を超える結果となりました。本年度、「あいさつ運動」を運営委員と連携して行ったり、ふたニャン総会で取り上げたりするなど児童の意識は高まってきていると感じました。この流れを大切にしながら、来年度につなげたいと思います。友達、先生、PTAや地域の方に自分から気持ちのよい挨拶ができるよう、ご家庭と協力しながら、引き続き指導をしていきたいと思えます。

また、昨年度80%にとどかず、課題であった子どもの「先生からの信頼」の項目は本年度90%、「先生への信頼」は80%を超える高評価となりました。保護者・教員の「児童理解」も90%を超え、うれしい結果となりました。今後も一人一人の子どもの心に寄り添いながら、楽しくわかりやすい学習指導、丁寧な生活指導、児童の意欲につながる励ましの声かけなどを積極的に行い、信頼し合える関係づくりを進めていきたいと考えています。

## 4 保護者の声

「保護者の声（アンケートの記述内容）」については、教職員・学校評議員で共有・検討し、次年度の活動にいかしてまいります。貴重なご意見をありがとうございました。

## 5 学校評議員さんの声（抜粋）

- ・タブレットによって「視覚化」した学びが広がっていると思います。
- ・ICTと合わせて、ネットリテラシーについての授業もしてほしい。
- ・ICTを活用した「旭山動物園」との交流や他校との交流授業など、新しい授業の工夫を聞いて、ぜひ見てみたいと思いました。
- ・授業を何回か参観させていただきました。先生方の取り組みには毎回頭が下がります。子どもたちも意欲的だと感じました。



- ・なかよし交流や通学班など，他学年と関わる経験から年上や年下の子とも仲良くできていると思います。
  - ・最近二川南小の子のあいさつの声がよく聞こえます。
  - ・道徳，体験活動，先生方の取り組みが実を結んできました。
  - ・大人からあいさつすることが大切。
  - ・道徳が自分の子どもの頃に教わったものと少し違ってきていることに戸惑っています。
- 
- ・地域の方の高齢化により，昔より地域の方から学ぶ機会が減ったと感じる。
  - ・ふたなんフェスタでの子どもたちのマナーのよさがうれしかったです。子どもたちの心の成長を感じます。地域と共にある学校です。
  - ・校長先生と校務主任の先生が毎朝道に立っている。いつもいてくれる安心感がある。
  - ・部活動やクラブ活動は校外の助力を得てはいかがでしょうか。
- 
- ・教師の労働環境の改善を願います。
  - ・教科担任制など，もっと教師の時間がとれるようになると思う。
  - ・子どもたちの支援に関してとても寄り添った対応をしてくださっています。ただ，職員室の電気が夜遅くまでついていることがあり，先生方の体が心配です。

本年度のアンケート結果やふたなんサポート委員（学校評議員），保護者の皆様のご意見をもとに，充実した教育活動となるように，改善を重ねていきたいと思えます。

